

視聴覚教育

NO. 389

発行日

25. 1. 28

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視視聴覚用語 『ペニオク』

ペニーオークションの略。毎回の入札に手数料が発生する形式のネットオークション。落札にかかわらず入札手数料は返金されないため、近年被害相談件数が増加し、消費者庁が利用に注意喚起を促している。

ペアレンタルコントロール

現職研修委員会学習情報部長 入山定之

一月四日、BLOGOSというニュースサイトで気になる記事を見つけたので紹介します。クリスマスの日、アメリカのある母親が十三歳の息子にiPhoneをプレゼントしました。その際、次のような手紙を付けて、手作りの「使用契約書」を渡したそうです。

メリークリスマス！

あなたは今日からiPhoneの所有者になります。おめでどう。責任感のあるお利口な十三歳のあなたに、このプレゼントは相応しいです。でも、このプレゼントを受け取るのと同じ時に、ルールや規則もいっしょに付いてきます。

私の親としての仕事も理解してください。私はあなたを、健康で豊かな人間性を持ち、現代のテクノロジーを賢く活用できる大人に育てなければなりません。規則が守れなければ、あなたのiPhoneの所有権も無くなります。

あなたが大好きです。何百万通ものメッセージを交換できることを楽しみにしています。

子供のスマートフォン所有率が、前年比二倍以上になるという調査結果が出ています。どれほどの保護者が、この手紙を書いた母親のように「現代のテクノロジーを賢く活用できる大人に育てなければならぬ」という責任をもって子供にスマートフォンを持たせたのでしょうか。携帯情報端末による子供たちのトラブルは後を絶ちません。その危機感から、各学校では「情報モラル教育」への関心が高まり、子供たちに対して、情報モラルを扱った道徳や特活の授業が盛んに行われるようになってきました。そして、今後さらに大切なことは、保護者の協力です。ほとんどの場合、トラブルは子供が家庭にいたときに起きます。保護者が、ネット社会の便利さと怖さを十分に理解していること。家族で積極的に話題にできること。この手紙のように、保護者の管理下でコントロールできること。(ペアレンタルコントロール)

私たちは、子供たちに対する情報モラル教育を進めながら、保護者や地域の協力を得るために、積極的に啓発しなければなりません。

(※参考 <http://blogos.com/article/53423/>)

視聴覚教育あれこれ

〇ライブラリーの教材を使って授業を!

広報部の先生方にライブラリーの教材を使った実践を行ってもらいました。その一部を紹介します。

(学年・教科・単元名・使用教材の順です)

● 特支小二(算数)「かぞえてみよう」

(小一(国語)「かぞえうた」でも有効)

【遊んで覚える学習DVD⑤かぞえかた】

● 小二(算数)「かけ算(2)」

【遊んで覚える学習DVD⑩かけさん九九】

リズムに合わせてくり返す

● 小二(道徳)「ぼくわたしにできること」

【障害者と補助犬の生活から学ぼうやさしい気持ちいたわりの心 盲導犬編】(ビデオ教材)

● 小三(社会)「わたしたちのまち みんなのまち」

【岡崎市観光文化百選く北部】

● 「伽藍に輝く歴史と文化」(ビデオ教材)

● 小五(理科)「流れる水のはたらき」

【小学理科ビデオシリーズ】

● 「流れる水のはたらき」

● 中一(体育)「現代的なリズムダンス」

【現代的なリズムのダンスVHS】

● 「導入・実践」

この他にも子供達の学びを深めることのできる教材や機材がたくさんあります。一度、授業で利用してみたいかがでしょうか。



実践報告 II

低学年での情報モラル教育

六ツ美南部小学校 榊原 康博

今年度、二年生の学級担任をしているが、低学年から情報モラル教育は行っていく必要があると考えている。

今回、「事例で学ぶ Net モラル」を利用して「人の作品を大切にする」という主題で授業を行った。

初めに、「友だちの作品に落書きしないで」の映像クリップを視聴させた。クリップの内容は、ゆうたがあかねの書いた作品を善意で直してあげたが、それを見たあかねは泣き出してしまった、というものである。授業ではあかねが泣き出す前までを見せ、ゆうたの気持ちを考えさせた。そして、ゆうたは親切で直したことを確認した。それから、ゆうたのしたことは、良いか悪いかを聞いた。良いと答えた児童が七名、悪いが二十三名という結果であった。この授業をする必要性が見えた瞬間だった。

その後、映像クリップの続きを見せてあかねの気持ちを考えさせ、もう一度ゆうたのしたことの良いか悪いかを聞いたら、良いと答える児童はいなかった。最後に、教師が人の作品は大切にしなければならぬことを説明した。

低学年からの情報モラル教育の必要性を改めて感じた実践となった。



II レッツ・トライ II

「ポケモンPCチャレンジ」の導入

このソフトは、最も基本的なマウスやキーボードの入力操作を学ぶことができる。ウェブサイト (<http://pc.pokemon.co.jp>) から申し込むことができ、ソフトやローマ字表などが無償で送られてくる。インストールは不要で、CD-ROMを入れたら自動的にソフトが起動する。

【マウストレーニング】は、行く手を邪魔するポケモンを避けながらポインター移動で道を進んだり、ドラッグ&ドロップでポケモンを移動させたりする。

【アルファベットトレニング】は、ネイティブスピーカーによる発音を聞きながら、アルファベットをポケモンの名前と関連付けて復唱し、該当するキーを選んでいく。

【キーボードトレニング】は、レベルにより指のガイドが表示されるので、初めてタイプングする子でも正しいローマ字入力が練習できる。

トレーニングの成績に応じて、ポケモンのバッジを獲得でき、「ひみつのあんごう」をメモすればどのパソコンからでもトレーニングの再開ができる。子供たちが自主的に取り組み、パソコンに親しみがもてるよう、本ソフトを活用していきたい。



表示されるガイドと同じ指でタイプ。

(広幡小学校 学習情報主任 青山 高視)

ライブラリーだよ

各教室に設置されている50インチの大型ディスプレイやノートパソコン等の活用にお困りの方はいませんか。岡崎市視聴覚ライブラリーから発行されている『視聴覚教材・機器利用の手引き』には、コンピュータ教材や視聴覚機器を利用した授業の実践例が掲載されています。ぜひ一読ください。

また、岡崎市視聴覚ライブラリーには、たくさんのお教材、効果音、機材があります。これらは、直接視聴覚ライブラリーのホームページから予約ができます。(インターネット予約には、各学校の学習情報主任の先生に配布されているIDとパスワードが必要)教材に関しては「利用目的」の欄に「授業(メール便希望)」と打ち込むと交換メール便で配達されます。貸出期間は貸出日を含んだ七日以内です。

『視聴覚教材・機器利用の手引き』に教材の一覧が掲載されています。インターネットでの検索も可能です。ぜひ活用ください。※二月末から三月中旬にかけて予約が殺到します。計画的にご予約ください。

